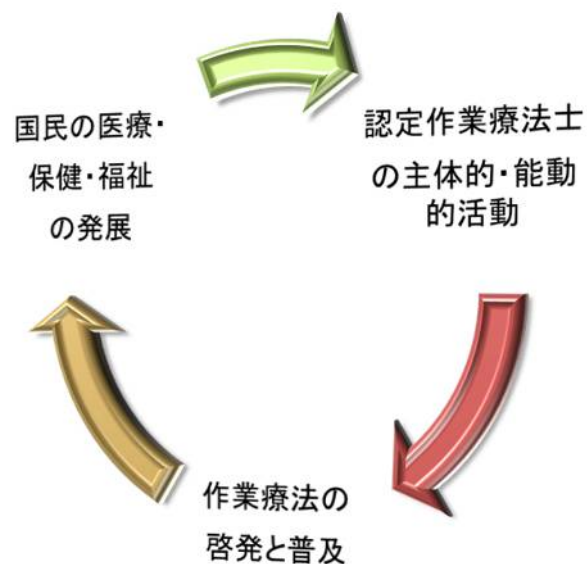


認定作業療法士の役割

認定作業療法士には、作業療法士の先頭に立って作業療法の啓発と普及に貢献し、国民の医療・保健・福祉の発展に大きく寄与する役割があります。

認定作業療法士の名簿は、本協会機関誌で公開されるほか、所属施設長、都道府県作業療法士会及び、当協会ホームページ等で公開しています。

認定作業療法士としての一層の主体的、能動的活動が期待されます。



専門作業療法士との関連

当協会は、2009年度より「専門作業療法士制度」を開始しました。

専門作業療法士の11分野

- 『福祉用具』
- 『認知症』
- 『手外科』
- 『特別支援教育』
- 『高次脳機能障害』
- 『精神科急性期』
- 『摂食嚥下』
- 『訪問作業療法』
- 『がん』
- 『就労支援』
- 『脳血管障害』

専門作業療法士の資格を申請するためには、認定作業療法士を取得していることが必須条件となります。

当協会も認定作業療法士の育成、社会的地位の向上及び、その活動の支援等を積極的に行っていきます。

認定作業療法士に関する問合せ先
一般社団法人 日本作業療法士協会 教育部
生涯教育課

<http://www.jaot.or.jp>

事務局／東京都台東区寿1-5-9 盛光伸光ビル

TEL: 03 (5826) 7871 FAX: 03 (5826) 7872

認定作業療法士

Association Certified Occupational Therapist



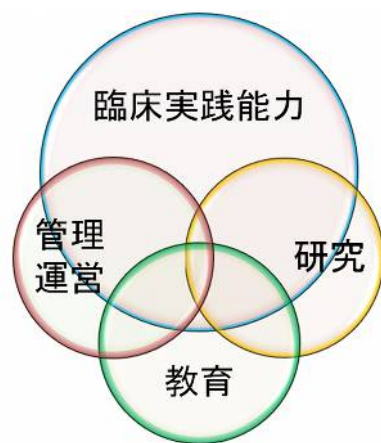
JAPAN Japanese Association of Occupational Therapists
一般社団法人 日本作業療法士協会

認定作業療法士とは

日本作業療法士協会は、国民により質の高い作業療法サービスを提供することを目的に、認定作業療法士制度を創設致しました(2004年)。

認定作業療法士は、作業療法の臨床実践、教育、研究及び、管理運営に関する一定水準以上の能力を有する優れた作業療法士です。

2024年6月現在1,541名の認定作業療法士が全国で活躍しています。

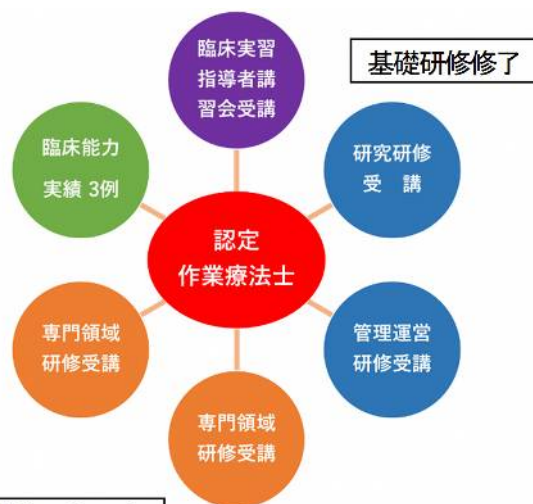


認定作業療法士の氏名、会員番号、認定番号、所属都道府県作業療法士会名、所属施設名等は、所属都道府県作業療法士会、所属施設の長、本会ホームページ、その他本会が必要と認める範囲で公開されます。

認定作業療法士になるには

認定作業療法士の資格を取得するには、当協会に入会后5年以上の臨床経験を積み、生涯教育基礎研修を修了していることが前提条件となります。その後、教育・研究・管理運営に関する研修を36時間以上、自分の専門領域に関連する研修を24時間以上受講し、修了試験に合格するとともに、臨床能力実績3例の登録を行う必要があります。

これらの要件を満たした後に、本人からの申請に基づき、本協会の教育関連審査会にて審査され、理事会で認定を受けます。



認定作業療法士を更新するには

認定作業療法士の資格を更新するためには、有効期限内(5年間)に以下の要件を満たすことが必要です。

[4つの更新要件]

- ①基礎研修ポイント
- ②実践報告
- ③後輩育成
- ④作業療法啓発に関する社会的貢献

基礎研修ポイントには、当協会主催学会や研修会、講習会への参加、学会や研修会等での講師やシンポジストなどの講師ポイント、養成校からの臨床実習指導ポイントなどが含まれます。また、実践報告は、認定作業療法士の日々の実践をISSN/ISBNに登録されている学術誌等に報告することが必要です。後輩育成と作業療法啓発に関する社会的貢献は、学会、研修会での講師、臨床実習指導、学会での座長、論文の査読、本協会以外の団体主催による研修会での講師などが含まれます。